

Device InsightsとOrbitalの統合のトラブルシューティング

内容

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[背景説明](#)

[トラブルシューティング](#)

[接続](#)

[ミスマッチ数](#)

[ライセンス](#)

[MacおよびLinuxデバイスが表示されない](#)

[関連情報](#)

概要

このドキュメントでは、統合を設定し、Device InsightsとOrbitalの統合をトラブルシューティングする手順について説明します。

前提条件

要件

このドキュメントに特有の要件はありません。

使用するコンポーネント

このドキュメントの内容は、特定のソフトウェアやハードウェアのバージョンに限定されるものではありません。

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されました。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、初期（デフォルト）設定の状態から起動しています。本稼働中のネットワークでは、各コマンドによって起こる可能性がある影響を十分確認してください。

設定の詳細については、[here](#) 統合モジュールの詳細。

背景説明

SecureX Device Insightsは、組織内のデバイスの統合ビューを提供し、Orbitalなどの統合データソースからのインベントリを統合します。

トラブルシューティング

このセクションでは、設定のトラブルシューティングに役立つ情報を説明します。

接続

- ソースのREST APIクレデンシャルは、Postmanなどのツールを使用して基本的な接続をテストするために使用できます。
- クエリの結果がOrbitalエージェントから取得されると、データはリモートデータストアに公開されます。
- Device Insights用にリモートデータストアが作成されているかどうかを検証します。これはアカウント設定から検証できます。
- リモートデータストア詳細管理者から、Device InsightsテナントIDとDevice InsightsのURLが表示されていることを確認します。ステータスは認証されている必要があります。

Name	ID	Added	Added By	Host	Status	
Threat Response Private Intelligence	9	L...	2023-06-28 14:58:11	Yeraldin Sanchez	private.intel.amp.cisco.com	Authenticated
48312523	2b	4...	2023-07-08 14:52:29	Yeraldin Sanchez	insights-api.us.security.cisco.com	Authenticated

- [Results]タブに移動し、Device Insightsによって作成されたジョブを[Job]リストで確認します

Name	Status	Created	Ingested	Internal	Results	Result Size	Type	Config	Creator	Remote Data Store	Errors
Device Insights - 483	Active	2023-07-26 14:57:45	0	24 hours	0	0	Device Insights	Custom	Yeraldin Sanchez	---	0

- 図に示すように、SecureXポータルから[Administration]に移動し、[API Client]を選択して[Orbital]が選択されていることを確認します。

Name	Status	Created	Ingested	Internal	Results	Result Size	Type	Config	Creator	Remote Data Store	Errors
client-05	Active	2023-07-26 14:57:45	0	24 hours	0	0	Device Insights	Custom	Yeraldin Sanchez	---	0

Scopes · These are not editable after creation

- | | | |
|-------------------------------------|---------------|---|
| <input type="checkbox"/> | Notification | Receive notifications from integrations |
| <input type="checkbox"/> | Oauth | Manage OAuth2 Clients |
| <input checked="" type="checkbox"/> | Orbital | Orbital Integration. |
| <input type="checkbox"/> | Private Intel | Access Private Intelligence |
| <input type="checkbox"/> | Profile | Get your profile information |
| <input type="checkbox"/> | Register | Manage register entries |

Availability

Organization

Approval Status

Approved

Description

Device Insights Test

Close

- エラー「No response from endpoint, it may be offline」 – このエラーは、エンドポイントがオフになっているか、Orbitalクラウドに接続されていないことを意味します。IP、ポート、およびURLが許可されていることを確認するには、『[Cisco Secure Endpoint & Malware Analyticsの適切な操作に必要なサーバアドレス](#)』ドキュメントを参照してください。

ミスマッチ数

- デバイス数が一致しない場合は、バージョン1.14から90日を超えるエンドポイントのインベントリがOrbitalで保持されないため、インベントリ内のアクティブなエンドポイントだけでなく、Orbitalコネクタがインストールされているすべてのエンドポイントが含まれることが予想されます。device insights機能がアクティブな場合、すべてのエンドポイントが実行する定期的な毎日のジョブが作成されます。エンドポイントでジョブが実行され、結果のデバイス情報がOrbitalに送り返されると、Orbitalからそのデバイスの存在がSecureXに通知されます。そのデバイスのジョブ結果が90日以内に受信されなかった場合、Orbitalエンドポイントはデバイスインサイトのインベントリから削除されます。
- Orbitalの再インストールでは新しいGUIDが生成され、コンソールで重複が発生する可能性があります。

ライセンス

- Secure Endpoint Consoleに、Orbitalへのアクセスに必要な適切なライセンスがあることを確認します。

MacおよびLinuxデバイスが表示されない

- OrbitalソースのMacOSおよびLinuxデバイスは、Device Insightsではまだサポートされていません。

Device InsightsとOrbitalの統合で問題が解決しない場合は、この[記事](#)を参照してブラウザからHARログを収集し、TACサポートに連絡してさらに詳細な分析を行ってください。

関連情報

- [SecureXリファレンスガイド](#)
- [Orbitalのトラブルシューティング](#)
- [テクニカル サポートとドキュメント – Cisco Systems](#)